

ニュースレター

No.93

2019年5月23日

目 次

お知らせ	ページ
第16回 総会開催のお知らせ	1
行事案内	2
ホットスポットを体感しよう	
行事報告	3
第17回 さがみ自然フォーラム	
県内自然保護ニュース	6
エコ10フェスタ2019 ブース出展	
かんがわ生きもの調査ほかイベントのおしらせ	
神奈川県自然保護協会からのお知らせ	
第15回 総会議案書案	8

神奈川県自然保護協会 第16回総会のお知らせ

- 日時 2019年6月15日(土)
13時より (開場 12時30分)
- 会場 神奈川県立歴史博物館講堂
- 日程
 - 12:30 開場
 - 13:00 総会開会
開会挨拶 理事長
来賓挨拶 県自然環境保全課長 山田 修様
 - 13:20 総会議事 (総会議案書は8頁に掲載)
 - 14:00 総会閉会

総会終了後講演会を行います。講演会は一般の方が対象です。
どなたでも聴講できます。

東京海洋大学 名誉教授 兼廣 春之氏
「プラスチックによる 海洋汚染
-マイクロプラスチック問題」

このニュースレターには資格のある会員*に
出欠(委任状兼用)用はがきを同封しました。

* 2018年度以降の会費納入の方
当日会費納入の受付をします。過去分をお払い頂ければ資格回復します。
不明のことは事務局にお問い合わせください。



会場案内

(横浜市中区南仲通 5-60)

- みなとみらい線 「馬車道駅」から徒歩1分
出口[5]馬車道口からエスカレーターをご利用になると便利です。
- JR 「桜木町」駅、または、「関内」駅北口から徒歩8分
- 市営地下鉄線 「関内駅」[9]番馬車道口から徒歩5分、「桜木町駅」から徒歩8分

NPO 神奈川県自然保護協会選定

生物多様性 ホットスポットを体感しよう !!

2019年 7月 6日 (土) 小雨実施

自然の豊かさ・生き物の多様性を実感する

田んぼの生き物観察教室・・

場所 秦野市名古木 NPO法人自然塾丹沢ドン会の活動フィールド

丹沢ドン会は、1992年創立の非営利法人の自然塾で、秦野市の北東部に位置する谷戸地をフィールドに、都市と農村を結び、地域の人々と共に市民の手を借りて棚田や周辺の自然環境の保全・再生に取り組んでいる団体です。

集合場所・時間 8時15分 小田急線秦野駅改札口 (丹沢ドン会のメンバーが案内誘導)

または直接現地へ8時50分 (直接行かれる方は申込時にお伝え下さい)

見どころ 棚田の田んぼの生き物観察 (カテゴリーA・B)

荒廃地を復元し、保全再生することによって甦った、かつては当たり前前に生息していた生き物たちの観察を通して、生物多様性に良い影響を与えている現場を観る。

スケジュール

現地集合・オリエンテーション	9:00~ 9:30
名古木のフィールド案内	9:30~10:30
田んぼの生き物観察教室	10:30~12:00
昼食・交流・懇談	12:30~14:00
現地解散・バスで秦野駅へ	14:00

案内 NPO法人自然塾丹沢ドン会

生き物観察講師：北野 忠 (本協会理事 東海大学教養部人間環境学科自然環境課程教授)、ゼミ生

参加費 500円 (高校生以下は無料)

定員 30名 (定員になり次第締め切り)

持ち物 昼食、飲み物、帽子、汚れてもいい靴、タオル、雨具、筆記具

問い合わせ 自然保護協会事務局 (青砥) TEL 046-222-2356

ドン会事務局 (金田) TEL 090-6470-2850 (昼間)

参加申込み 参加希望者は、自然保護協会事務局 (青砥)

FAX 046-222-2356

Eメール nacs-kana-office01@eco-kana.org

ホットスポット選定の3要件

- ① 地域における希少種・重要種・固有種が集中する地域
- ② 種の多様性 (密度) が高い地域
- ③ その地域が危機にさらされている地域。

カテゴリーA：希少種・レッドリスト種が集中する地域

カテゴリーB：神奈川県や地域の生物多様性保全上、特に重要な地域

第18回 さがみ自然フォーラム

2019年2月7日～11日 アミューあつぎ
全期間を通して900人余の参加がありました。

展示（第1会場）



入口の様子

ギャラリー1から3までつなげた会場で、各地で活動する団体、行政、企業に加えて、大学・高校・小学校による日頃の活動や研究成果の発表が行われました。

今回特に良かったのは、昨年の自然保護団体が保全活動をしているフィールドを大学生が研究のフィールドとして、その成果が活動団体に還元される実例が発表されたこと、それに企業や公的機関の参加が増えたことに加えて会場のレイアウトを変更して、同じ量の展示でも広く感じられるようになったことでした。

また、幼稚園（平岡幼稚園）の参加を得て、展示の幅が広がりました。



神奈川県地球環境賞受賞を受賞した平岡幼稚園の展示



にぎわう展示会場



海のプラスチック被害を訴える野生動物救助連の展示は今年も迫力がありました

参観者と展示団体の交流もたくさんできました。



展示（第2会場）

第2会場は、高校生・大学生の研究発表ポスター展示がありました。前年は、ポスター前でセッションをしたのですが、長時間になると言うことで、今年は口頭発表は別会場で行いました。下は、展示されたポスターの一部です。

東海大学 北野研究室

-レジュメ集P22~23-

NPO法人自然塾丹沢協会が管理する
秦野市名古木の「あぜ道」に生息する昆虫

「あぜ道」は、自然塾丹沢協会が管理する、秦野市名古木の「あぜ道」に生息する昆虫の調査と保全に関する研究を行っています。

トゲミズギクカメムシ
体長3mmほどの小型のトゲミズギクカメムシで、その名の通り前胸背には1対のトゲがあるのが特徴である。湿った草地の地表に生息することが知られている。西日本や東部諸島では多くの記録があるが、関東以北では分布が限られる。神奈川県では記録がないようで、本調査で得られた標体が県内初記録である可能性が高い。

モンクオビビルテムシ
体長3mmほどのテントウムシで、中国・台湾・ベトナムを原産とする外来種である。

東京農業大学 野生動物学研究室松林ゼミ

-レジュメ集P21, 30~32- (2/10発表者)

こける野生動物のスタック利用に関する研究
動物学研究室 博士前期課程1年 43718005 大川智也

ホンドタヌキにおける人工哺育個体の調査

背景
ホンドタヌキ *Ailuropus procyonoides japonicus* は日本でも保護動物であり、狩猟禁止である(環境省、鳥獣保護法)。野生動物の個体がいなくなることは毎年保護されているが、繁殖力に乏しいため絶滅の恐れがある。

目的
人工哺育タヌキの野生復帰についての検証

結果 2018年10月-11月

地域比較
2017年10月-2018年3月
・東丹沢地域と足柄地域の撮影頻度上位7種比較
・東丹沢地域と足柄地域の撮影頻度上位5種比較

日本大学 住まいと環境研究室

-レジュメ集P34~35- (2/10発表者)

「公園植物廃材」を活用した染料商品開発と販促の検討

日本大学生物資源住まいと環境研究

1 研究背景
「公園植物廃材」を活用した染料商品開発と販促の検討

2 目的
ポタニカル・ダイとは?

3 方法
Plan エコプロダクトのアンケートで抽出した課題点
Act 課題点の整理と商品開発
Check アンケートの結果と購入意欲

東京農業大学 昆虫学研究室

-レジュメ集P21, 32~33- (2/10発表者)

市における・亜科群集構造の季節消長について

あつぎこどもの森公園における果実食ケシキイ

ケシキイ科
調査方法
統計解析
結果と考察

光明学園 相模原高等学校

-レジュメ集P35- (2/10発表者)

植物カワラノギクの保全活動

これまでの取り組み
今年度の取り組み

日本大学 森林生態学研究室

-レジュメ集P22-

鶴半島のクロマツ・照葉樹混交林における
ロマツの樹齢と年輪成長

調査木と方法
結果と考察

植物カワラノギクの保全活動
相模原高等学校 理科研究部

調査木と方法
結果と考察

今年度の取り組み

活動発表会 2月10日 高校・大学生の発表
11日 小学校・企業・市民団体



七沢希望の丘初等学校児童の発表



発表会風景



熱心に聴く聴衆

講演会 2月9日 生態系の再生

講師 羽山伸一氏

失われた未来を取り戻すために

日本獣医生命科学大学教授
丹沢大山自然再生委員会委員長

いろいろな生命が絶滅し生態系が壊れることは、我々の未来が壊れることだ。ということから「失われた未来を取り戻す」という演題にしたとのこと。丹沢再生に関わる経験から、どこまでできたか、今後何が必要かについて、具体的にお話しして頂いた。中でも良く話題になるシカとオオカミの関係について、オオカミがいなかった屋久島でも同じ問題が起きている事からシカをコントロールしてきたのは人間の力だったという話は印象的だった。

自然を再生するうえで一番大事なことは、現状を正しく把握し、生きものの立場に立つて環境の質を向上させること。うまくいけばその結果として生きものが評価してくれる。ということだった。詳細な記録は次の機会にご覧頂きます。



発表団体紹介などの記載されたレジュメ集 会員には同封送付しました。会員外でご希望の方は連絡ください。ご協力いただいた各方面の方々にお礼申し上げます。

神奈川県内自然保護ニュース

(このページに掲載する情報をお寄せください。)

かながわエコ10フェスタ2019 ブース出展

*** さとやまの生きものと、都市の外来生物 ***

1日目 2019年5月26日(土) 11時00分～17時00分

2日目 2019年5月27日(日) 10時00分～16時00分

主催 かながわ地球環境保全推進会議

例年、この時期県庁周辺で行われている行事です。今年の会場は、横浜公園です。

本協会は昨年「さとやま水族館」という名称で、生きたカエル類、アカハライモリ、オオキンケイギク、アメリカザリガニなど外来生物の展示もして啓発活動をしました。子どもたちに、アメリカザリガニに触れる機会を作ったのは好評でした。今年も同じように第3回目を行います。

何が展示できるが、近くににならないとわかりませんが、楽しみにしてきていただければ幸いです。



現在スタッフが不足しています。一部の時間でも手伝って良いという方ご連絡下さい。

(神奈川県からのお知らせ)

参加者募集
かながわ
生きもの調査
無料

調査に参加して
神奈川県に生息する里山の生きものや
外来種について知ろう

スマートフォンやタブレットから簡単に参加できます！

ステップ1 「いきものログ」にユーザ登録をしよう
いきものログのホームページでユーザ登録をしましょう。
いきものログホームページ：<https://ikilog.biodic.go.jp/>

ステップ2 生きものを観察しよう
対象の生きものを探して、観察・撮影をしましょう。
県の花『ヤマユリ』も対象です。

ステップ3 観察結果を報告しよう
観察した結果をいきものログで報告しましょう。

ステップ4 みんなの観察結果を見よう
県内にはどんな生きものがいるのか見てみましょう。

<問合せ先>

神奈川県環境農政局緑政部
自然環境保全課緑地グループ TEL.045-210-4310

詳しくは

かながわ生きもの調査



第43回 環境研究合同発表会

主催 神奈川県市環境研究機関協議会

2019年6月19日(水) 12時45分～16時30分(開場12時)

横浜市開港記念会館講堂横浜市中区本町1-6

定員 280名 入場無料 当日参加可 要旨集進呈

神奈川県環境科学センター、横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する当協議会では、各機関が実施した大気、生物等各分野の研究成果を毎年6月の環境月間中に発表しております。本年も次により合同発表会を開催いたしますので、環境問題に関心をお持ちの皆様多数の参加をお待ちしております。お越しいただいた方には講演要旨集を差し上げます。

プログラム

- 1 市内河川におけるアユの遡上分布 [12:50 ~ 13:15]
- 2 環境DNAを用いたサンショウウオ調査の試行結果と今後の展開 [13:15 ~ 13:40]
- 3 アスファルト及び芝生上における暑熱環境の比較調査について [13:40 ~ 14:05]
- 4 廃棄物管理能力向上のためのインドネシア共和国パンドン市と川崎市の都市間連携活動について [14:15 ~ 14:40]
- 5 相模湾漂着マイクロプラスチックに吸着したPCBの測定 [14:40 ~ 15:05]
- 6 横浜市のマイクロプラスチック調査 [15:05 ~ 15:30]
- ★ 特別講演プラスチックの資源循環の動向と今後の取組 [15:40 ~ 16:30]

国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 田崎智宏

申し込み方法

ハガキ、電話、Eメール、電子申請にて氏名、連絡先（事業所・所属部署、電話番号）を明記の上、2019年6月17日（月）までに下記のいずれかにお申込みください。
 また、当日、直接会場へお越しいただいても受付しております。
 ※ただし、応募者多数の場合は抽選の後、お断りする方のみご連絡します。
 6月18日に下記（1）URLにてお知らせします。

申し込み及び問合せ先

- (1) 神奈川県環境科学センター
〒254-0014 平塚市四之宮 1-3-39 0463-24-3311
申込み URL <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/index.html>
- (2) 横浜市環境科学研究所
〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町1 澁澤ABCビルディング1号館5F 045-453-2550
Eメール ks-kanken@city.yokohama.jp
- (3) 川崎市環境総合研究所
〒210-0821 川崎市川崎区殿町 3-25-13 044-276-9001
Eメール 30sojig@city.kawasaki.jp



IGES-JISE 主催：市民環境フォーラム
日本の森づくり技術の世界へ

ー SDGs における環境への取り組みー
 日 時：2019年6月19日（水）14:00 ~ 16:30（開場 13:30）
 場 所：横浜情報文化センター 6階情文ホール（横浜市中区町日本大通 11）
 参加費：無料（事前登録制 申込先着順）
 共 催：応用地質株式会社、株式会社三五、日置電機株式会社

プログラム

- 14:00-14:05 はじめに鈴木邦雄（IGES 国際生態学センターセンター長）
- 14:05-14:25 趣旨説明 目黒伸一（IGES 国際生態学センター 主幹研究員）
- 14:25-14:45 「砂漠化と緑化の現状ー中国内モンゴル自治区とウズベキスタンで見たこと、聞いたこと、実践したことー」 応用地質株式会社技術本部 技師長 浅見 和弘氏
- 14:45-15:05 「地域緑化活動 ーふるさと森づくり」 日置電機株式会社総務部部長 山辺 昌幸氏
- 15:05-15:15 休憩
- 15:15-15:35 「自然と共生する社会を目指す三五の活動」 株式会社三五総合企画部 広報 G 高野 薫氏
- 15:35-15:55 「カンボジアにおける森林再生の取り組み」 IGES 国際生態学センター主任研究員 林 寿則
- 16:00-16:30 パネルディスカッション

申し込み方法：お名前、ご住所、電話番号、所属（省略可）、メールアドレスを明記の上、電子メールまたはファックスでお申込み下さい。

（公財 地球環境戦略研究機関国際生態学センター担当・目黒・大槻
 電子メール：scoinform@jise.jp ファックス：045-472-8810

お問い合わせ上記メールアドレスもしくは電話 045-548-6270；月～金 10:00-17:00

2018年度（第15回）神奈川県自然保護協会総会議案書 （案）

「水辺の生きもの探検隊」実施 市内善明川

8月1日

2018年度事業報告

1 事業の成果

本協会は2015年50周年を迎え、行事を通してできた県内各地の団体とのつながりや、生物多様性ホットスポット選定の成果を生かして、県内生物多様性保全や、そのための啓発活動を更に発展させる取り組みを進めた。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

生物多様性ホットスポットの将来にわたる保全、蝕まれる自然の再生について一般県民を対象に啓発活動を行う。

・講演「生態系の再生—失われた未来を取り戻すために」 講師 羽山伸一氏 2019年2月19日

イ かながわエコ10 2018啓発 ブース出展

里山の希少生物と街の外来生物啓発展示

横浜公園 5月27日、28日

ウ 自然観察会・勉強会

・生物多様性ホットスポット対象の自然観察会・勉強会

江の島 6月8日

あつぎこどもの森公園 10月14日

エ 厚木市生物多様性地域戦略推進事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

・さがみ自然フォーラム 会場 アミューあつぎ
2019年2月7日～11日

昨年同様、大学生の研究発表が多く加わったことと企業の参加があり、成果があった。

(内容)

県内活動団体からの報告 26団体

幼稚園 1園

小学校 4校

高等学校 1校

大学 3校13テーマ

企業 2社

国・地方自治体 5団体

公的機関(3セク) 1団体

・講演 (再掲)

「生態系の再生—失われた未来を取り戻すために」 講師 羽山伸一氏

参加者(入場者)数 総計900人

これに関して発表のレジュメ集52pを発行した。

・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー自然観察と外来種駆除

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

本年度は未発行

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」 91号から92号まで
2回ページ総計 18ページ

ウ ホームページとメールマガジン

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努めた。またニュースレターの情報を補うために時宜に応じてメールマガジンを発行した。(No.44～48)

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア さがみ自然フォーラム開催(再掲)

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行った。(厚木市との協働)

イ 専門家派遣事業

・厚木市 あつぎこどもの森公園 企画事業 各月第3土曜日ほか

・厚木市愛甲小学校 川の学習

6月20,21日 10月19,20日 2018年1月22,23日

・厚木市河川ふれあい課 善明川水辺ふれあい事業

10月16日

ウ 行事の後援・参加

・江ノ島モース祭(モース研究会:5月28日開催)

・藤沢自然と親しむ会 10月21日、11月3日

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

・神奈川県内、生物多様性保全委員会を設置

ホットスポット選定事業の延長として害のある外来生物のリストづくりを開始

(5) 行政への働きかけ・協働

神奈川県環境行政について、県民と担当部局の意見交換の場を設け、よりよい協働への機会を作る。

・浅羽副知事との懇談会

県内各地の問題を捉えて意見交換を行った。

8月2日

(6) 2016年度・役員が協会代表として行政および他機関の役職についたもの。

(藤崎理事長)

・小網代の森保全対策協議会委員

・かながわ地球環境保全推進会議副会長

・丹沢大山自然再生委員会委員

(青砥副理事長)

・神奈川県環境農政局主管公共事業評価委員会委員

・水源環境保全再生かながわ県民会議委員

- ・かながわトラストみどり基金緑の募金運営協議会委員
 - ・厚木市環境審議会委員
(片桐副理事長)
 - ・神奈川県環境審議会委員
 - ・かながわ地球環境保全推進会議 ワーキンググループ
(山口理事)
 - ・神奈川県愛鳥ポスターコンクール審査員
- 3 事務局体制

(運営組織)

活動の広がりに伴い作業量が多くなることに対応して、役員の役割分担を明確にするための組織体制の確立に努めた。

4 会議の開催

総会 6月16日 神奈川県立歴史博物館
理事会 6月総会以降 5月、11月の年2回開催
事務局会毎月 第2火曜日開催。

2018年度 収支決算書 (案)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

科 目	金 額 (円) ()内数字は明細			備 考
	予算	決算	増減 (△減)	
I 収入の部				
1 会費・入金収入	580,000	515,000	△65,000	会費 内過年度分 ¥30,000-
2 (1) 事業収入	60,000	40,000	△20,000	
ア 自然観察会開催事業	(60,000)	(40,000)	(△20,000)	
(2) 受託金・補助金	496,800	523,200	26,400	
ア 受託金	(496,800)	(523,200)	(26,400)	厚木市：生物多様性戦略啓発事業
イ 補助金	(0)	(0)	(0)	
3 寄付金	150,000	88,000	62,000	内 書籍 ¥22,000-
4 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	10,000	3,338	△6,662	
6 事業費取崩	0	0	0	
今期収入合計 (A)	1,526,800	1,399,538	△127,262	
預かり金	1,000	42,000	41,000	18年度以降前受け会費他
前期繰り越し収支差額	60,191	60,191	0	
収入合計(B)	1,587,991	1,501,729	△86,262	

II 支出の部				
1 事業費	1,297,000	780,974	△516,026	
(1) 普及啓発事業	120,000	92,081	△27,919	
ア 講演会開催事業費	(30,000)	(33,333)	(3,333)	
イ シンポジウム開催事業	(0)	(0)	(0)	
ウ 自然観察会開催事業	(60,000)	(35,900)	(△24,100)	講師・スタッフ経費・バス借り上げ
エ 啓発ブース出展費用	(30,000)	(22,848)	(△7,152)	エコ10イベント出展料ほか経費
(2) 企画事業費	80,000	24,000	△56,000	
ア 厚木市イベント	(80,000)	(0)	(△80,000)	
イ 河川ふれあい事業	(0)	(24,000)	(24,000)	
(3) 刊行事業	610,000	157,874	△452,126	
ア 啓発誌発行事業 1	(500,000)	(0)	(△500,000)	神奈川の自然 67号刊行
イ 啓発紙発行事業 2	(50,000)	(42,962)	(△7,038)	ニュースレター 89号～90号
ウ ホームページの運営事業	(60,000)	(54,432)	(△5,568)	ホームページサーバー管理料
エ その他印刷物作成	(0)	(60,480)	(60,480)	協会紹介パンフレット
(4) 他団体との協働・支援	462,000	464,815	2,815	
ア さがみ自然フォーラム	(450,000)	(452,815)	(2,815)	協力者謝礼・レジューメ印刷他
イ 他団体会費	(12,000)	(12,000)	(0)	丹沢大山再生委員会。丹沢ボラネット
(5) 調査・研究費	25,000	42,204	17,204	
ア 自然環境調査費	(10,000)	(27,204)	(17,204)	ホットスポットワーク
イ 資料購入費	(15,000)	(15,000)	(0)	日本自然保護協会
2 管理費	251,000	210,794	△40,206	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	50,000	50,000	0	償却費積立延期
(4) 消耗品費	30,000	4,200	△25,800	事務用品・用紙・電池など
(4) 役務費	20,000	9,960	△10,040	コピー代・宅配便送料他
(5) 交通費	40,000	40,000	0	交通費等立て替え弁償
(6) 通信費	20,000	13,350	△6,650	役員連絡・行事開催連絡・総会用はがきなど
(7) 会議費	85,000	88,040	3,040	会議会場費・弁当代
(8) 雑費・源泉所得税納入	6,000	5,244	△756	講師謝礼源泉徴収税支払い
3 事業積立金	0	300,000	0	
4 前受け会費	1,000	42,000	△41,000	次期預かり金へ

5 予備費	38,991	0	38,991
当期支出合計(C)	1,587,991	1,333,768	△244,233
当期収支差額(A)－(C)		65,770	
次期繰越収支差額(B)－(C)		167,961	

2018年度監査報告

第2号議案 定款変更に関する件

定款の変更については、総会の議決が必要であることから以下の様に変更することを提案します。

第4章 役員及び職員等
(種別及び定数)

第15条 協会に次の役員を置く。

(1) 理事 10人以上20人以下
(現在 15人以上25人以下)

附則追加

8 この定款は、2019年6月15日から施行する。

第3号議案 役員選任に関する件

2019年度から2020年度の役員として次の方をお願いいたします。(下線を付けた方はは新任、他は重任です。)

理事 (14名)

青砥航次 大谷房江 片桐務 笠間友博 岸一弘
北野忠 新堀豊彦 高柳英麿 原田禎介 廣崎芳次
藤崎英輔 村上雄秀 八城敬友 山口勇一

監事

宮嶋徹 吉武美保子

(退任) 岸しげみ 橋浦敬子 原悠樹 松島義章
三嶽良子 持田幸良

第4号議案 2019年度事業計画及び予算(案)

2019年度事業計画(案)

1 事業活動方針

本協会は諸活動・行事を通してできた県内各地の団体とのつながりを更に発展させる方向で、生物多様性ホットスポット選定の成果を生かし、県内生物多様性保全や、そのための啓発活動を更に発展させる取り組みを進める。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

神奈川の自然を理解し健全な自然の保全・再生を旨とし、これを阻害する要因である外来生物も対象に一般県民に自然と人とのよりよい関わり方を探る啓発活動を行う。

ア シンポジウム・講演会開催事業

- ・生物多様性の保全に関する講演会
「マイクロプラスチックによる海洋汚染問題
東京海洋大学名誉教授 兼廣春之氏
2019年6月15日

- ・神奈川の生き物を守る 一里山管理と外来種問題への市民と行政の協働－ 2020年1月頃

イ かながわエコ10 2019啓発 ブース出展 5月25日、26日 横浜公園

ウ 自然観察会

生物多様性ホットスポット対象の自然観察会・勉強会シリーズ。

第1回 秦野 名古木の棚田 7月6日(土)

第2回 三浦半島方面 秋 日未定

他 随時

地形・地質観察会 2020年3月頃

エ 厚木市生物多様性地域戦略推進事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施

に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

- ・さがみ自然フォーラム

2020年2月7日～11日

- ・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー実施 海のめぐみ発見ツアー 日時調整中
- ・特定外来種対策 啓発活動及び市民向け自然観察会と除去作業 6月9日(日)
- ・厚木市環境フェア ブース出展 10月20日(日)

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」68号

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」

NPOとしての活動に関する広報

行事に関する広報/県内の自然保護の動きに関する情報/神奈川県の環境行政の動向に関する広報など隔月を目標に発行する。

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努める。

エ かながわの自然保護の新しい状況を伝えるメールマガジン 発行随時

オ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実に努め、機会を捉えて掲出する。

カ その他必要に応じて、協会紹介パンフレットづくりなど行う。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア さがみ自然フォーラム開催(再掲)

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、研究者、組織等の関係者が集まり、意見や情報の

交換を行う。(厚木市との協働)

- ・日時 2020年2月6日～11日
- ・会場 厚木市市民活動プラザ(アミュー厚木)
県内活動団体からの報告
小中学校、幼児教育施設の活動報告
高校生・大学生・研究者による発表
ポスター展示及びポスターセッション・ステージ発表
希少種の保全をテーマとした講演会

イ 専門家派遣事業

- ・内容 協会会員のうちで自然に関する各分野の専門家を、必要とする団体等に対し指導・協力者として派遣・及び機材の貸し出しをする。

ほか

ウ その他 必要な活動

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

- ・神奈川県内、生物多様性ホットスポットプロジェクト

ト

- 選定したスポットの追加、発展作業
外来生物ブルーリスト調査

- ・他 自然全般

(5) 行政への働きかけ・協働

- ・神奈川県環境行政について、県民と担当部局の意見交換の場を設け、よりよい協働への機会を作る。
- ・県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出など。

3 事務局体制

- ・資料印刷・現金出納・行事実施など協力者募集
- ・ホットスポット、環境教育など部会を組織し理事も事情が許す限り、運営メンバーとして参加し実行体制の強化にかかわる。

4 会議の開催

総会 6月15日 13:00 神奈川県立歴史博物館
理事会 年2回
運営委員会、各部会など随時
原則誰でも参加自由、開催日時はメールマガジン等で広報する。

2019年度予算(案)

()内数字は明細

科 目	金 額 (円)		備 考	
	前年度実績	本年度予算	比較(△減)	
I 収入の部				
1 会費収入	515,000	550,000	35,000	
2 (1) 自然保護に関する普及啓発事業	40,000	60,000	20,000	
ア 自然観察会開催事業	(40,000)	(60,000)	(20,000)	参加費(交通費の他1名1,000円)
(2) 受託費・補助金	523,200	516,800	△6,400	
ア 厚木市生物多様性普及事業受託金	(496,800)	(496,800)	(0)	厚木市 生物多様性戦略事業費
イ 厚木市河川ふれあい事業	(26,400)	(20,000)	(△6,400)	
3 寄付金	88,000	150,000	62,000	一般寄附及び書籍譲渡見返
4 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	3,338	10,000	6,662	
6 前期末収金	0	0	0	
7 事業積立取り崩し	0	0	0	
当期収入合計(A)	1,399,538	1,516,800	117,262	
預かり金(前受け会費)	42,000	5,000	△37,000	差額は本年度会費に組み入れ
前期繰り越し収支差額	60,191	167,961	107,770	
収入合計(B)	1,501,229	1,689,761	188,032	

II 支出の部				
1 事業費	1,814,706	1,417,000	636,026	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	92,081	190,000	97,919	
ア 講演会開催事業費	(33,333)	(30,000)	(3,333)	
イ シンポジウム開催費	(0)	(85,000)	(85,000)	自然再生講演会 さがみ自然 F 内
ウ 自然観察会開催事業	(35,900)	(40,000)	(4,100)	講師謝礼他経費
エ 啓発ブース出展費	(22,848)	(35,000)	(12,152)	かながわエコ 10 フェスタ出展料他経費
(2) 企画事業費	24,000	95,000	71,000	
ア 厚木市イベント	(0)	(75,000)	(75,000)	外来生物啓発・エコツアー他
イ 河川ふれあい事業	(24,000)	(20,000)	(△4,000)	
(3) 刊行事業	157,874	615,000	457,126	
ア 啓発誌発行事業 1	(0)	(500,000)	(500,000)	かながわの自然 68号
イ 啓発紙発行事業 2	(42,962)	(55,000)	(12,038)	ニュースレター 91号～
ウ ホームページの運営事業	(54,432)	(60,000)	(5,568)	
エ その他印刷物作成事業	(60,480)	(0)	(△60,480)	
(4) 他団体との協働・支援	464,815	472,000	7,185	
ア さがみ自然フォーラム	(452,815)	(460,000)	(7,185)	運営費 当日資料 出展謝礼他
イ 他団体協賛金	(12,000)	(12,000)	(0)	丹沢大山自然再生委員会 丹沢ボラネット
(5) 研究調査費	42,204	45,000	2,796	生物多様性ホットスポットプロジェクト他

2 管理費	201,794	176,000	△34,794	
役員報酬	0	0	0	無償
事務局人件費	0	0	0	無償
備品費	50,000	0	△50,000	備品償却積立費
消耗品費	4,200	5,000	800	事務用品・会議資料用紙代
役務費	9,960	10,000	40	コピー 宅配便送料等
交通費	40,000	40,000	0	旅費・駐車料
通信費	13,350	14,000	650	連絡郵送料・行事開催連絡他
会議費	88,040	89,000	960	役員会会場費・弁当代
雑費・源泉所得税支払い	5,224	10,000	4,756	
3 事業積立金	300,000	0	△300,000	
4 前受け会費	42,000	5,000	△37,000	2019年度分以降前受け会費
5 予備費	0	99,761	99,761	
当期支出合計(C)	1,372,759	1,689,761	355,993	

事務局より

会費納入状況について

封筒のシールの色を見て下さい。

封筒に貼ったシールでお知らせしています。

郵便法によりヤマト運輸 DM 便では請求書が私信であるとして封入が禁止されているためです。ご理解ご協力をお願いいたします。

シールの色の意味は以下の通りです。

- 白・・・早々の会費納入ありがとうございました。
- 緑・・・昨年度分までの会費はいただいております。本年度分納入をお願いします。
- 青・・・昨年度分の会費をまだいただいております。

事務局で**共に活動して下さる方**を探しています。

会報の編集

毎年発行していた会報「かながわの自然」の発行が近年滞っています。県内の自然の状況、問題点などその道の専門家に執筆頂いて、県民、活動する仲間などに啓発、情報提供するもので本協会の活動の中で重要なものです。

発行が滞っている主な理由は、企画、編集に携わる人手がないためです。

本協会の仕事は原則ボランティアなので、従事者手当は出せませんが、かかった費用の実費くらいは負担をかけるようにします。

ん。本年度分と合わせてお支払いいただければ幸いです。

黄・・・2017年度分からの会費をいただいております。ご希望により、2年間休会されたことにより本年度分からお支払いいただくこともできます。

赤・・・会員としての継続をお願いしていましたが、お応え頂けなかったので今号をもちまして発行物発送を止めさせて頂くことにいたします。いずれの時に再入会して頂けることをお待ちしております。

会費の振り込みの際は、振込票に必ずお名前を記載して下さい。

イベントの企画・運営

講演会や自然観察会など、以前に比べると回数が少なくなっています。これも企画・運営するスタッフがいなかったためです。

神奈川県自然保護協会の存在意義は、ある特定の地域を対象としていたり、具体的な保全活動をしている団体と異なり、逆に全体を包括するような問題に取り組んだり、具体的な問題に取り組むそれぞれの団体を結ぶような活動することだと思えます。それを実現するために何かしたいという人に仲間になって頂きたいと思っています。

ニュースレター 93号

特定非営利活動法人

神奈川県自然保護協会

<http://www.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (セロキョウ)店 当座 0112653

2019年5月23日発行

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org

諸般の事情によりニュースレターの発行を少なくしています。別冊もしばらく休止しています。

メールアドレスが分かる会員の方には、別途通信をお送りしています。届いていない方アドレスをお知らせください。